

18-MEAの構造

一回転領域を持つ特殊な存在

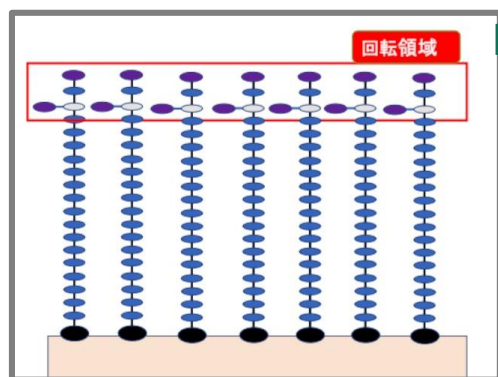
【06】 18-MEAの構造

一回転領域を持つ特殊な存在

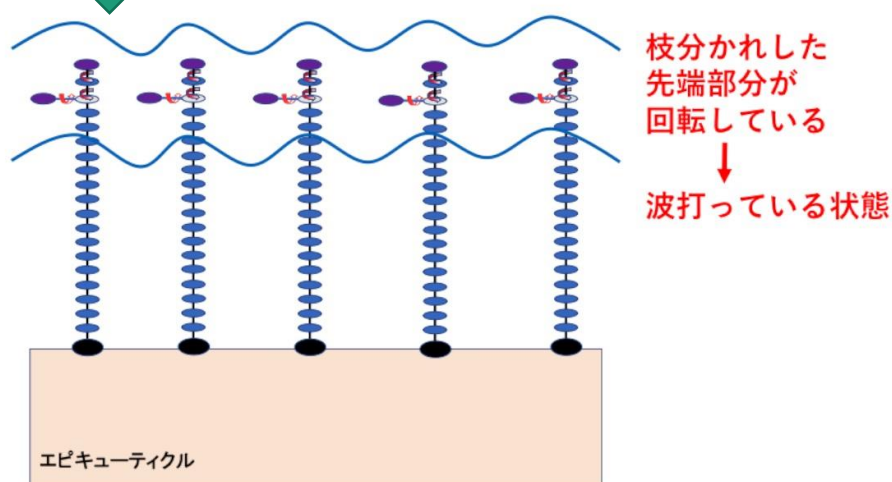


■今回は「18-MEAの構造」です。前回の「18-MEAの機能」に引き続いて18メチルエイコサン酸について詳しく説明します。

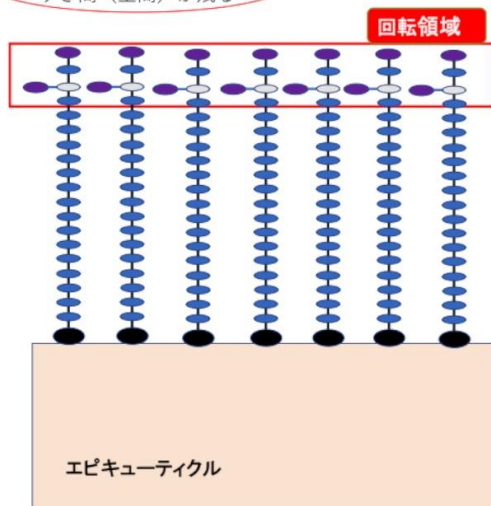
■なぜ「18メチルエイコサン酸」と呼ばれるようになったのか、その化学的な由来も含めて詳しく説明していきますので、理解を深めていきましょう！



18-MEAの先端部分が回転して波打っている



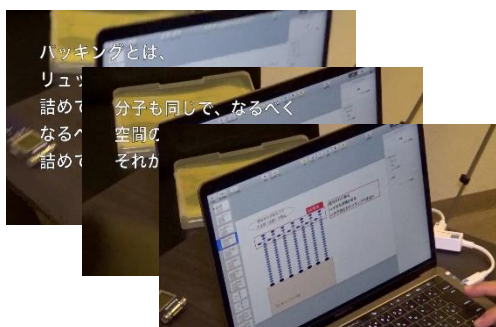
枝分かれがあるので
すき間（空間）が残る



枝分かれがある
⇒十分な空間がある
⇒分子同士がパッキングできない

■なぜ回転してるのか？

■先端部分には枝分かれがあるため。
つまりメチル基が枝分かれして入るために十分にパッキングができないからである。



パッキングとは、
リュック
詰めて
なるべく
詰めて

分子も同じで、なるべく
空間の
それか

■パッキングとは、例えばリュックサックに荷物を詰めていくときに、なるべく空間（すき間）がないように詰めていくこと。

■分子も同じで、なるべく空間のないように詰められれば、それが自然で安定になる。しかし、18-MEAの先端部分にメチル基があるためにツツパリができてうまくパッキングできない。